

「AMDA」アジアに新拠点

医療NGO30年 マレーシアに

国際医療NGO「AMDA」(本部・岡山市)が近く、マレーシアのクアラルンプールに新たな拠点をかまえる。設立30年を機にアジアでの活動を充実させるため、代表の菅波茂さん(67)も移住する。

菅波さんとスタッフ4人が駐在。貧困地域の生活向上や教育支援事業を進めながら、アジア各地を巡回診療する医療スタッフを差配する。(長崎縁子)

菅波茂さん(67)も移住する。

AMDAは岡山市内で内科医院を開いていた菅波さんが1984年、災害や紛争の発生時に主に医療や保健衛生面の緊急人道支援を展開する組織として設立した。名称は「アジア医師連絡協議会」の英語の頭文字からつけた。

スタッフは計18人。現地の医師が運営する「支部」をインドやボスニア・ヘルツェゴビナといった海外約30カ国に置き、そのネットワークを使って緊急支援に赴く。過去にはスマトラ沖地震・津波(2004年)、フィリピンの地震・台風禍(13年)のほか、東日本大震災でも医師らを派遣した。クアラルンプールには、